



メダカに大喜び！

4月23日（火）、大丸小学校5年生14名（男8名、女6名）にメダカが寄贈されました。

これは、同町横瀬の萬歳正明さん（山村）が、大丸小の校庭の池を見て、『勉強の資料として使ってもらいたい』と送られたもので、約3年前から自宅で繁殖させているとのことでした。

児童を代表して穂園拓斗くんが、「卵が産まれるのを観察したいです。」とお礼の言葉を述べました。

送られたメダカは、理科の『魚の誕生』をテーマにした授業で活用していくとのこと、自然界では見ることの少なくなったメダカに児童たちは大喜びでした。



▲メダカを見る児童たち



手作りの庭ほうきで学校をきれいに！

5月16日（木）、シルバー人材センター（西堂岩男事務局長）から、町内6小学校へ庭ほうき50本が寄贈されました。

この取り組みは、地域の子どもたちとシルバー会員の交流を目的に毎年、同センターが実施しているものです。

庭ほうきを製作した会員の丸山義男さん（角堂）は、「小学校の子どもたちが使いやすいように、柄を少し短くしたり、細くしたりと考えながら作りました。このほうきを使って学校をきれいにしてもらいたいです。」と話され、各小学校を訪問し、代表児童らに寄贈されました。



▲庭ほうきを受け取る児童たち



福祉の向上に！社会福祉協議会へ寄付

日本和装学園大隅本校統合学園長の溝口千恵子さん（中郷）は、5月15日（水）に役場を訪れ、4月21日（日）あすばる大崎で開催された『第41回全国きもの着付&ヨガフェスティバル』の入場料の一部を社会福祉協議会へ寄付していただきました。

大会では、着付けの部、振袖の部の両部門で競技が行われ、各部門の上位者は、7月に京都府京都市で行われる全国大会に出場することができ、本町在住者4名も入賞を果たしました。

溝口さんは、「福祉のために利用してください。」と話されました。



▲寄付金を町長へ渡す溝口千恵子さん